

2014年 **オートバックス** 全日本カート選手権 KF部門 第9戦・第10戦
2014年全日本カート選手権 FS-125部門 東西統一競技会
2014年ジュニアカート選手権 FP-Jr/FP-Jr Cadets部門 東西統一競技会

2014/10/23
大会事務局

公式通知 No.5 **KF、FS-125 部門宛**

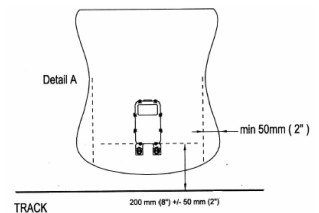
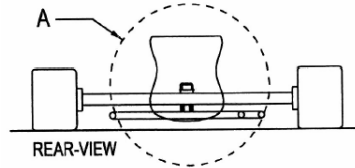
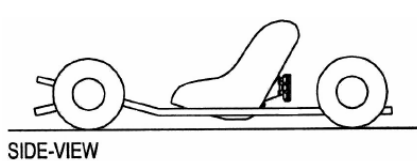
エンジン回転数測定器の運用及び装着要領

1. 測定器の運用方法

- 1) 参加受付時に回転計ホルダーの貸出を行なう。
- 2) 公式車検時にホルダーの装着状況確認を行い、不具合が見受けられる場合は修正が命じられる。
- 3) タイヤ配布時に測定器本体の貸出を行なう。公式練習時から測定器は装着すること。
- 4) 決勝ヒート終了後、車検場にて測定器本体およびホルダーを返却すること。

2. ホルダーのシートへの装着(KF用AMB測定器)

- 1) 以下に従いホルダー装着箇所的位置を決める。ホルダー座面は、路面に対して垂直に近い角度とする。場合によってはスペーサー等を用いて角度を調整する。クロスメンバー等がホルダーの下方に位置すると電波が干渉して正確な測定が出来ない為、留意すること。

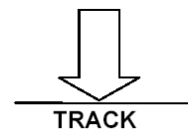


※ホルダーは、シート中央を最良とするが左右どちらかに寄ることも可とする。
※ホルダー座面下部は、路面から200mm+/-50mmの高さとする

- 2) ホルダーの装着箇所を決めてから、ホルダーの3つの穴に合わせてシートに3箇所穴(直径約5mm)を開け、タイラップコードにてホルダーをシートに強固に固定する。
※ネジ、ボルト、ナットは使用せずタイラップコードを使用すること。

3. エンジン測定器のホルダーへの装着

- 1) 右図が表側に、また右図の矢印下方が路面となるように測定器をホルダーにタイラップコード2本で装着する
※クロスメンバー等がホルダーの下方に位置すると電波が干渉して正確な測定が出来ない為、留意すること。
- 2) 検知コード先端をプラグコードにタイラップコード2本で強固に取付。
※検知コードの取り回しに留意すること。取り回しの状況によりタイラップコードを用いてコードの遊びを無くすこと。
※ビニールテープは使用しないこと。



4. エンジン測定器のホルダーへの装着(FS-125用 OPPAMA測定器)

- 1) 表示面が表側となるように測定器をホルダーにタイラップコードを2本で装着する。
※表示面のMODE部分およびSET部分を操作しないように留意すること。誤って操作した場合には必ず技術委員長に申し出ること。申し出が無い場合、ペナルティが課せられる場合がある。
- 2) 検地コード先端をプラグコードにタイラップ2本で装着する。
※検地コードとプラグコードは連続して約20mm接触すること。
※ビニールテープは使用しないこと。

以上